

【令和3年度 第2回宗像ビジネス交流会「むなBIZ」】

令和3年度第2回宗像ビジネス交流会「むなBIZ」を、昨年 JR 赤間駅徒歩1分に OPEN した創業支援・コワーキング施設「fabbit 宗像」にて2月4日（金）に開催しました。

なお、当日はソーシャルディスタンス確保のため、会場でのご参加は講演者ならび関係者のみとさせて頂き、その他参加希望者には会場の様子をオンライン配信致しました。

少しでも「むなBIZ」の様子をお伝え出来るようレポートをお届け致します。



会場：fabbit 宗像 1



会場：fabbit 宗像 2

「fabbit 宗像」・・・スタートアップ企業支援／コワーキングスペース等を備えた施設。宗像市、宗像市商工会、および fabbit にて「創業支援事業に関する連携協定」を締結し、宗像市発の地方創生実現を目指しています。

URL (<https://fabbit.co.jp/facility/munakata/>)

【令和3年度 第2回テーマは「いま注目！」 副業・兼業・フリーランス”を活用】

毎回「むなBIZ」では各回で流行のビジネステーマを設定し、講演やパネルディスカッション、交流会を実施しています。

令和3年度第2回「むなBIZ」はコロナ禍において更に注目されている「副業・兼業・フリーランス」をテーマにお送りしました。昨今、働く場所や時間だけに限らず、複数の会社・組織への所属や、フリーランスとして働くなど多様な働き方が増えています。また、雇用する側の中小企業においても人材活用について柔軟に対応していく必要性を求められています。今回の基調講演では一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会 求人ステーション統括コーディネーターの葛谷美里氏をお迎えし、企業の外部人材活用や事例等についてお話し頂きました。また、事例紹介では、実際に人材活用されているあるいはフリーランスとして活躍されている株式会社アナムネの代表取締役 CEO・菅原康之氏、宗像経済新聞の編集長・中村昌史氏、エニタイムフィットネスマネージャーの池田梨恵氏のお三方にご登壇頂きました。司会進行役は fabbit の田嶋啓氏が務められました。



テーマ「いま注目！」 副業・兼業・フリーランス”を活用」

< 基調講演 葛谷 美里 氏 (一社)プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会 求人ステーション統括コーディネーター >

基調講演頂いた葛谷氏は大手人材サービス会社等でキャリアを積み、企業研修や採用支援を行う株式会社 Natural-Growth を創業、代表取締役役に就任。フリーランス協会では企業の外部人材活用に携わり、日々課題解決のための支援をされておられます。フリーランス協会は「誰もが自律的なキャリアを築ける世の中へ」を理念とした国内最大規模のフリーランスネットワークです。決してフリーランスという働き方を押し進めている訳ではなく、フリーランスを含めた自律的に働く方のためにマーケットを作る等のサポートを行っていらっしゃいます。

冒頭、「フリーランスの活用」は企業にとって未知の領域と呼ばれ疑問も多く、「社内に知見がある人材がない」「正社員で採用するには固定費リスクやアンマッチリスクがある」「採用活動したが全く応募がない」といったような背景を抱えていることから外部人材活用のニーズが高まっており、フリーランス協会では「求人ステーション」という相談窓口にて中立的な立場で最適な人材と出会える仲介事業者へ橋渡しをしていると話されました。また、人材育成や優秀な社員の繋ぎとめ、オープンイノベーション促進を理由に副業解禁している企業が増えて来ていると述べられました。

全国の事例として、人材確保が難しい地方都市にある企業にて、社内の課題解決のために優秀な外部人材を副業にて関わってもらった結果、生産性が向上した例や分野のエキスパートとの協業をきっかけに売上が倍増した例などについてご紹介頂き、社員でないと解決出来ないと思われている業務が実はフリーランスの活用領域である可能性について触れました。また、働く側から見た際にコロナ禍においては転職より副業・フリーランスという働き方への関心が高まっており、金銭対価だけでなく社会貢献・自己研鑽したいという意識が高まっている点も興味深とし、仕事の受注経路は人脈活用が一番多く、近年は多種多様なエージェントサービスが増えていることからそういったマッチングサービスにてお仕事をされている方も増えて来ているとデータを用いて述べられました。最後にプロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会が開催しているフリーランスの良い事例を WEB 投票で選ぶ「フリーランスパートナーシップアワード」や外注費等に活用できる補助金などについてご紹介くださいました。

プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会 URL (<https://www.freelance-jp.org/>)



葛谷氏 登壇風景 1



葛谷氏 登壇風景 2

< 事業者取組み紹介① 中村 昌史 氏 (宗像経済新聞 編集長) >

事業者取組み紹介の第一人者の中村氏は宗像市ご出身で、親孝行の日を作るべく株式会社青い鳥を創業。その後、宗像の魅力発信のため 2021 年 12 月に宗像経済新聞を刊行、編集長として広域宗像圏の明るいニュースを日々最前線で発掘し配信するなど地元に着目した活動を展開されておられます。

宗像経済新聞を運用しているのはフリーランスの方方で、宗像市のデザイナーや主婦の方がライターとして活躍されており、中村氏は求職者の可能性を信じなければ相手側も企業を信用出来ないため、契約のしやすい方法を考え、徐々に役割を広げていけるようにフリーランスの方を採用・契約していると話されました。最後に、日々集まってくる宗像の情報の中には地域が抱えている課題も含まれており、今後はそこにフォーカスを当て課題解決事業を行っていきたいと語られました。

宗像経済新聞 URL (<https://munakata.keizai.biz/>)



中村氏 登壇風景 1



中村氏 登壇風景 2

<事業者取組み紹介② 池田 梨恵 氏 (エニタイムフィットネスマネージャー) >

事業者取組み紹介のお二人目の池田氏は、ご結婚・ご出産を機に医療事務や消費生活アドバイザーなど様々な資格を取得、また 2010 年に宗像市へ移住されてからは子育ての傍ら、大学の通信課程を卒業され、その後ヨガの楽しさに触れた事をきっかけにインストラクターとなられ、現在はインストラクター業と SDGs 対応型フィットネスジム「エニタイムフィットネス福津店」のマネージャーを兼業されています。

池田氏は現在行っている仕事を考慮し、時間的に可能な仕事をお受けするスタンスのため、マネージャーの仕事をご紹介された際も当時、フルタイム正社員という雇用形態であれば断っていたと話されました。現在は採用する立場でもあり、事例として副業希望の現役 CA の方を採用された事を挙げられ、様々な人が得意なスキルを発揮する事でより良い環境になると締め括りました。

エニタイムフィットネス福津店 URL (<https://www.anytimefitness.co.jp/fukutsu/>)



池田氏 登壇風景 1



池田氏 登壇風景 2

<事業者取組み紹介③ 菅原 康之 氏 (株式会社アナムネ 代表取締役 CEO) >

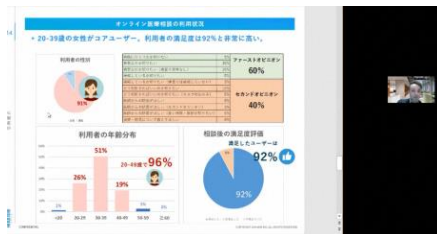
事業者取組み紹介のお三方目の菅原氏は、大手インターネットマーケティング会社にて新規事業の立ち上げ・運営から売却までを経験され、その後コーポレートベンチャーキャピタル事業に従事。現在はベンチャーキャピタルの設立、またヘルステックベンチャーの株式会社アナムネを創業し代表取締役 CEO を務められています。当日は東京からオンラインにてご登壇くださいました。

菅原氏は投資家と起業家を兼業するのは前例がない・リスクがあると言われた事に疑問を持ち、過去の経験を活かし見事両立されています。ヘルスケアプラットフォームサービスを提供しているアナムネは菅原氏のみ正社員でそれ以外の約 30 名は副業・兼業・フリーランスの方で組織されており、未来型組織を試していると話されました。また、サービスに登録されている約 100 名の医師の方もフリーランスとして契約されており、出産・育児等のライフイベントによって固定の常勤勤務が困難な女性医師の方がフルリモートでオンライン医療相談を行っていらっしゃるご紹介下さいました。

株式会社アナムネ URL (<https://anamne.com/>)



菅原氏 登壇風景 1



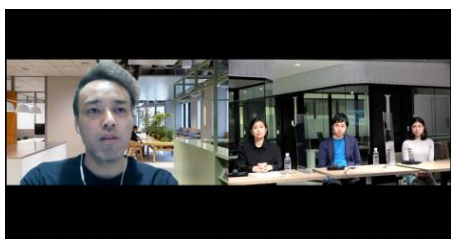
菅原氏 登壇風景 2

<トークセッション>

トークセッションはご登壇頂いた葛谷氏、中村氏、池田氏、菅原氏、進行役の田嶋氏の 5 名にて行われ、事前募集したご質問にも答えてくださいました。

まず、菅原氏より自身以外がフリーランス人材である経緯について、フリーランスの方のスキルが高いという自身の経験より現在は意図的にそのようにしていると話され、葛谷氏は諸外国と比べ日本はまだフリーランスとして働く方が少ないが、今後外部人材活用が出来てこそ企業の成長に繋がるのではないかと述べられました。

次に事前質問の「フリーランスとして働く場合の病気保障やリスク」について、中村氏は保証がないからこそ責任感や高いスキルを持った方が多いと実感していると回答され、池田氏はマネージャーとして契約しているオーナーとは信頼関係で成り立っていると回答されました。また、葛谷氏はこの部分について、自己責任である一方、産休・育休の有無や最低限の保障、ガイドライン整備等についてフリーランス協会がまさに政府に提言を行っていると言及されました。続いての「優秀な人材と出会える方法」という質問について、葛谷氏は雇用形態に関わらない人材募集している事を発信すると共に信頼出来る方からの紹介も有効であるとし、リモートワークが普及している昨今、東京・地方都市関係なく人材と出会える機会があると述べられました。続いて、フリーランスを活用する場合のメリットは理解が広まっているとした上でデメリットについて、中村氏は必要な人材と契約が出来るため特にデメリットを感じた事がないと答えられました。最後の質問として「優秀な外部人材を見極める方法」については、菅原氏は自身の経験上、優秀な人材となる方や一緒に働きやすい方が次第に分かってくると述べられ、葛谷氏はご心配な場合は仲介業者へ相談し目利きをして頂く方法が安心であると締め括られました。



トークセッション風景 1



トークセッション風景 2

令和 3 年度第 2 回宗像ビジネス交流会「むな BIZ」はウィズコロナで更に浸透しつつある「副業・兼業・フリーランス」をテーマにお送り致しました。今回リアルなお話しを沢山お伺いする事が出来ましたが、働く側は様々な事情に応じて選択出来る一方、保障等については自己責任な部分がある点、外部人材を採用する側は良い人材と契約する事で社内の課題解決に繋げる事が出来る点など、メリット・デメリットをしっかりと考える必要があると感じました。しかし、上手く活用する事で企業成長や優秀な人材の確保、働きやすい社会の構築に繋がるため、今後のガイドライン整備等が期待されます。それでは、次回の「むな BIZ」もお楽しみに。